

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月12日

計画の名称	鉄道駅などを中心としたコンパクトな都市づくり②												
計画の期間	令和04年度～令和08年度(5年間)										重点配分対象の該当	○	
交付対象	豊田市												
計画の目標	<p>【賑わいと魅力ある都心づくり】・豊田市中心市街地活性化基本計画に位置付けられている区域において、賑わいの創出、安全・安心・快適な歩行空間の確保及び交通の円滑化を図る。</p> <p>【鉄道駅などを中心としたコンパクトシティの実現】・豊田市は、合併を重ね広大な市域と分散した市街地を抱える課題を踏まえ、地域ごとの課題や特性に応じて都市機能や生活機能を集積・維持集約する地域・拠点において、地域核整備、定住促進（駅周辺地区）等の取組みを総合的かつ集中的に進めることで、活力あるまちづくりの実現を目指す。</p> <p>【文化ゾーン地区 暮らしにぎわい再生地区】・公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生し、歴史的資源を活用した魅力の向上を図るとともに、既成市街地外縁部における生活機能を確保する。</p>												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	9,306	A	9,306	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		令和4年度	令和6年度	令和8年度
1	中心市街地の歩行者交通量を57,041人/日(現況値)から93,863人/日(R8)に増加 中心市街地の歩行者交通量(平日の9～24時)を調査する。	57041人/日	81589人/日	93863人/日
2	区画整理区域内の居住人口を、2,385人(現況値)から3,615人(R8)に増加 区画整理区域内における居住人口を調査する。	2385人	3093人	3615人
3	博物館の年間入館者数の内、豊田市駅を含むバス系統の利用者数の割合が、2%(豊田市美術館実績値)から5%(5000人/年)に増加 来館者へ交通手段にかかるアンケート調査を実施する。	2%	2%	5%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	豊田市	直接	豊田市	—	—	豊田都心地区都市再生整備計画事業	まちなか空間整備	豊田市	■	■	■	■	■	4,138		—	
											小計						4,138			
市街地整備事業	A13-002	市街地	一般	豊田市	直接	豊田市	—	—	豊田土橋都市再生区画整理事業	都市再生区画整理 A=38.2ha	豊田市	■	■	■	■	■	637	1.3	—	
	A13-003	市街地	一般	豊田市	直接	豊田市	—	—	豊田花園都市再生区画整理事業	都市再生区画 A=22.5ha	豊田市	■	■	■	■	■	2,049	1.2	—	
	A13-004	市街地	一般	豊田市	直接	豊田市	—	—	豊田市文化ゾーン地区暮らし・にぎわい再生事業	賑わい交流空間整備	豊田市	■	■				2,482	1.37	—	
											小計						5,168			
										合計						9,306				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	653				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	653				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	329				
翌年度繰越額 (f)	324				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

市街地整備

計画の名称	鉄道駅などを中心としたコンパクトな都市づくり②		交付対象	豊田市
計画の期間	令和4年度～令和8年度(5年間)			

